

新常態で社会実装が加速する 空中ディスプレイの 概要と最新動向

山本裕紹¹⁻⁹

- ¹宇都宮大学 卓越教授
- ²宇都宮大学 工学部 基盤工学科 教授
- ³宇都宮大学 オプティクス教育研究センター(CORE) 兼任
- ⁴宇都宮大学 ロボティクス・工農技術研究所 (REAL) 副所長
- ⁵文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術動向研究センター
- ⁶IEC/TC110/WG6 Project Leader of IEC 62629-52-1 ED1
- ⁷JEITA DD標準化委員会 WG6対応委員会 客員
- ⁸光産業技術振興協会/ニューノーマル時代の光技術ロードマップ 策定専門委員
- ⁹宇都宮市まちづくり協議会 泉町活性化プロジェクト

1

山本 裕紹 <http://www.yamamotolab.science/>

Sci-Fi / Screen-Free display **Somewhat Funny display** **Super Fast microscopy**

山本研究室
 ・スタッフ：教授、特任教授、特任准教授、事務補佐員
 ・博士後期課程：9名（社会人8名、課程1名）
 ・博士前期課程：8名
 ・学部生：14名
35人の研究室を運営

1. 和歌山県 出身（智辯学園和歌山高等学校）
 2. 東京大学 工学部計測工学科（基礎研究室）：種差変動の変化点検知
 3. 東京大学 工学部工芸系研究科（自由研究室）：光コンピュータ
 4. 徳島大学 工学部応用工学科（助手）：情報フォトニクス
 5. 徳島大学 工学部応用工学科（助手）：情報フォトニクス
 6. 宇都宮大学（2016年入社）
 空中表示、LEDディスプレイ、光コム、種痘光学、VR Biology

宇都宮大学 卓越教授
 工学部 基盤工学科 教授
 オプティクス教育研究センター (CORE) 兼任
 自由学イノベーション技術研究所 (REAL) 副所長
 Project Leader of IEC 62629-52-1 ED1 3D display devices -
 Part 52-1: Fundamental measurement methods of aerial display
 - Original IEC/TC110/WG6
 JEITA DD標準化委員会 WG6対応委員会 客員
 QITDA 策定専門委員
 宇都宮市まちづくり協議会 泉町活性化プロジェクト 委員

1. 日本光学会
 1. 理事
 2. 機関誌「光学」副編集長
 3. OPU2022実行委員長
 2. IOW
 1. IOW WS Chair
 2. SD WS プログラム委員
 3. PRJ WS プログラム委員
 4. AIS TS プログラム委員
 3. 応用物理学会
 1. 連携会企画運営委員
 2. 大3分科 代表
 3. 情報フォトニクス・画像工学 世話人
 4. Information Photonics co-organizer
 4. レーザー学会
 1. レーザーフォトニクス専門委員会 委員
 5. SDSA プログラム委員
 6. SD AI/VIS subcommittee 委員
 7. LDC プログラム副委員長
 8. OPC 運営委員
 9. P2022 Steering Committee Chair
 10. OPTICA Senior Member

321-8585 栃木県宇都宮市蓮葉7-1-2
 宇都宮大学オプティクス教育研究センター
 E-mail: harotsu@yamamotolab.science

2

SF映画のディスプレイ

- 1. スターウォーズ
- 2. アイアンマン
- 3. アバター
- 4. スパイダーマン

4

SF映画のディスプレイ

- ① 宙に浮かぶ
- ② 横から見える
- ③ 手で触れる

©Nao Kurokawa (Utsunomiya Univ.)

7

SF映画のディスプレイ

- ① 宙に浮かぶ
- ② 横から見える
- ③ 手で触れる

8

SF映画のディスプレイ

- ① 宙に浮かぶ
- ② 横から見える
- ③ 手で触れる

9

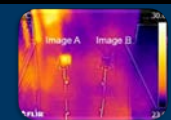
SF映画のディスプレイ



- ① 宙に浮かぶ
- ② 横から見える
- ③ 手で触れる



手の位置検出
ジェスチャー操作



遠赤外線を収束
温度刺激



超音波を収束
圧力刺激

10

空中インターフェース

- ① 宙に浮かぶ

「眼の光学」をもとにして、奥行き手がかりを再現する。

- ② 横から見える

広い範囲から光線を1点に集める「実像」を形成する。

- ③ 手で触れる

映像を変化させる、触った感覚を提示する。

11

SF映画に出てくるような ディスプレイを実現



(YouTube上に「AIRR Tablet」ビデオがあります。)

<http://youtu.be/iJd7fpH8n6M>

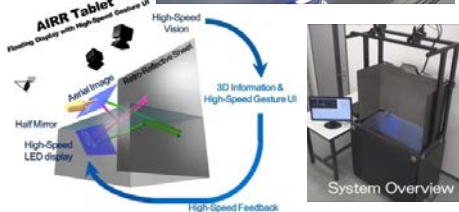
12

AIRR Tablet

- 低レイテンシー
- 広視野
- 実像
- 手が突き抜ける



<http://youtu.be/iJd7fpH8n6M>

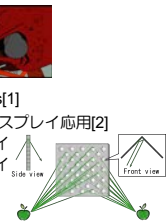


2台の高速カメラで指の3次元位置を計測して、空中映像をグリグリ動かす空中インターフェースを実現。

13

反射型結像光学素子の利用

- 自然界のザリガニの眼
- X線用結像素子：Lobster's eye optics[1]
- 2面コーナリフレクタレイのディスプレイ応用[2]
- 微細な開口の高精細なミラーアレイ
- フローティングタッチディスプレイ



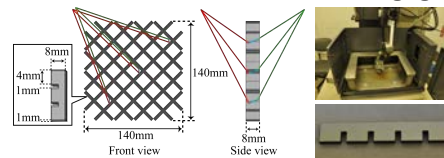
[1] René Hudcuc : X-Ray Optics and Instrumentation, vol. 2010, 139148 (2010).
[2] S. Maekawa, K. Nitta, and O. Matoba : Proc. SPIE 6392 (2006).

28

28

LEDパネル用の反射型結像光学素子を製作

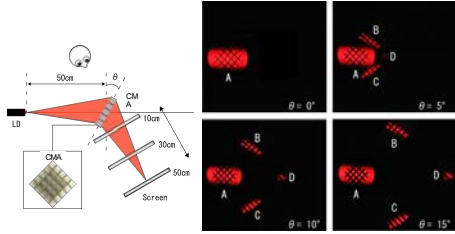
- CMA (Crossed-Mirror Array) を設計。
- 交差ミラー構造による中空開口
- 広い視野。サーマル3D表示可能。
- 4 mm × 4 mm の開口による Blurred imaging.



29

29

収束実験の実験配置



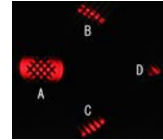
30

30

4方向の光

- A : 正面から見ると、そのまま透過した像
- B, C : 上下方から見ると、1回反射した像
- D : 対称的位置から見ると、空中表示の像

2回反射光が実像を形成する。
奇数回反射光は偽像を生じる。



31

31

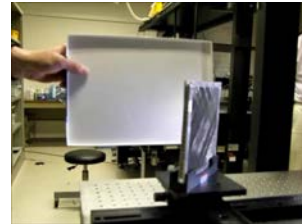
確実に見える

実像形成

32

32

LEDパネルによる空中像の結像位置観察



33

33

ディスプレイに求められる新しい価値

感染経路への対策： タッチレス化/非接触化

- 感染症対策の3原則
- ①感染者への対策
 - ②感染源への対策
 - ③感染経路への対策

新型コロナウイルスに対しては多くの人間は免疫を持たず、また特效薬もないため、3原則のうち③感染経路への対策が最重要。

原井健吉：「第1章 環境表面の感染リスクとタッチレス・非接触技術への期待」（操作・検査のタッチレス化/非接触化のための設計ポイントと最新動向、情報機構、2020）。



©Yamamoto Lab., Utsunomiya Univ.

40

40

★withコロナ時代に普及が望まれる非接触型技術。その研究開発をリードする各専門家が、タッチレス操作及び非接触型センシングのキー技術、関連部材の設計開発、キラーアプリケーションの展開など、多岐にわたり解説！

操作・検査のタッチレス化/非接触化のための設計ポイントと最新動向

まえがき（一部抜粋）

現在は、さまざまな場において新型コロナウイルスがもたらしたニューノーマル（新しい常態）に対応することが求められている。パイオ分野においては、COVID-19に対する検査・治療・予防接種などの対策について最適なケースで研究開発が進められている一方で、パイオ分野においては何が出来るだろうか？

本書では、withコロナ時代に普及が望まれる非接触型技術について研究開発をリードしている専門家に解説をいただいた。緊急事態宣言下ではオンライン会議を通じて、直訳解釈後においては必要を認めるなどしてでも見直しながら、今後のキー分野について担当の方々と打ち合わせを行い、多岐にわたる分野について解説をいただけることとなった。

本書に執筆の場をいただいた専門家の方々に感謝申し上げますとともに、安心して読者様に読ませる社会に貢献する技術の開発に本書が貢献することを願っている。（監修者：山本朝樹）

第4章 これからの時代におけるキラーアプリケーション検討

- 第1節 タッチレスエレベータ
- 第2節 ボタン操作のタッチレスソリューション（空中入力装置の開発）
- 第3節 デジタルサイネージへの応用に向けたシステム開発と課題対策
- 第4節 これからの時代のタッチレスインターフェイスについて
- 第5節 空中ディスプレイとインタラクションデザイン
- 第6節 感染症対策に向けた非接触タッチパネル実装と活用への展望



41

41

空中ディスプレイの社会実装と国際展開

- 自由空間インタフェースは、IoT・サービスプラットフォームとユーザーの界面を担う。
 - 自動車(自動運転・シェアライド)
 - 衛生・安全安心(工場・医療・食品端末)
 - エンタメ・新領域(IR施設・観光)

【ユーザーが最も頻繁に扱うターミナルとなり得る】
- 光学設計・精密加工・高性能材料が性能と機能を左右する。
【光学が中心的な役割を果たす】
- 性能の高さで国際競争力を明確にするためにはパフォーマンスの国際標準化が重要
【知財だけでなく国際標準化を通じて競争力を保つ】

43

LUTSUNOMIYA UNIVERSITY

43

International Standard on Aerial Display

Aerial display was selected as PWI in 2018.
 Technical Report on aerial display was published in 2020.
 In May 2021, NP of aerial display has been approved!

I'm the project leader from the start of PWI on aerial display.

45

45

2020年5月 Aerial displayに関するTechnical ReportがIECから発行。
 International Electrotechnical Commission, "3D display devices -- Part 51-1: Generic introduction of aerial display," IEC TR 62629-51-1 (2020).

46

46

広い意味での空中ディスプレイ

映像の近傍もしくは映像から観察者の間に	
実像	ハードウェアなし ● ホログラフィックディスプレイ ● ライトフィールドディスプレイ ● パッシブ光学素子による結像を用いたディスプレイ
	ハードウェアあり ● 透明ディスプレイ ● ライトフィールドディスプレイ ● 高速走査による残像ディスプレイ ● レーザープラズマによる空中描画
虚像	(無し) ● ペッパーズゴースト ● HUD ● HMD

47

47

狭い意味での空中ディスプレイ (空中インタフェースとして工業化に適した表示技術に限定)

空中ディスプレイの応用として注目されている用途は、映像の直接操作と空中サインージ。これらのキラーアプリケーションの実現と普及には

- ①映像を素手で直接触れること
- ②どの観察位置からでも同じ位置に映像があること
- ③特殊な眼鏡なしに映像を観察できること
- ④安全であること
- ⑤大量生産可能であること

の5つの要件が求められる。

48

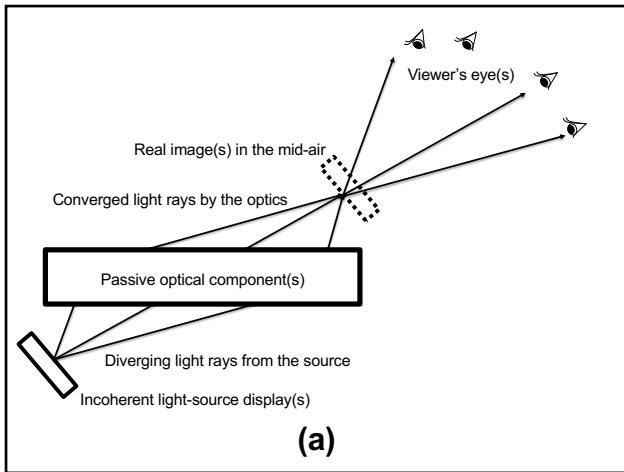
48

狭い意味の空中ディスプレイ

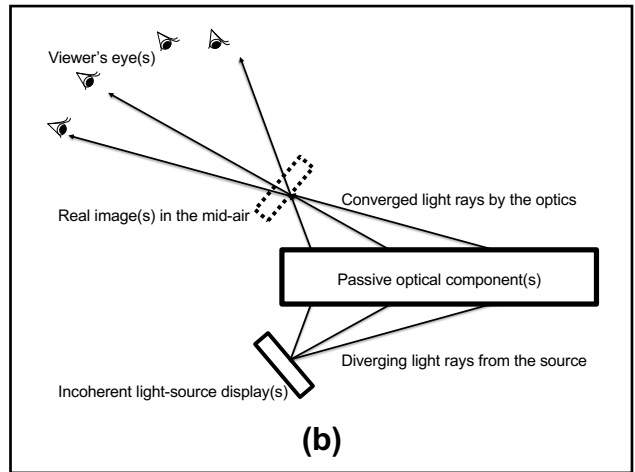
Aerial display in strict meaning forms a real image in the mid-air by use of an incoherent light-source display and a passive optical component to converge diverging light from the light-source display.

49

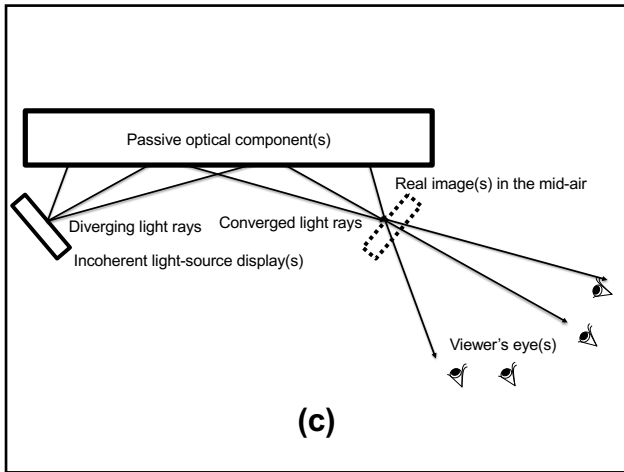
49



50



51



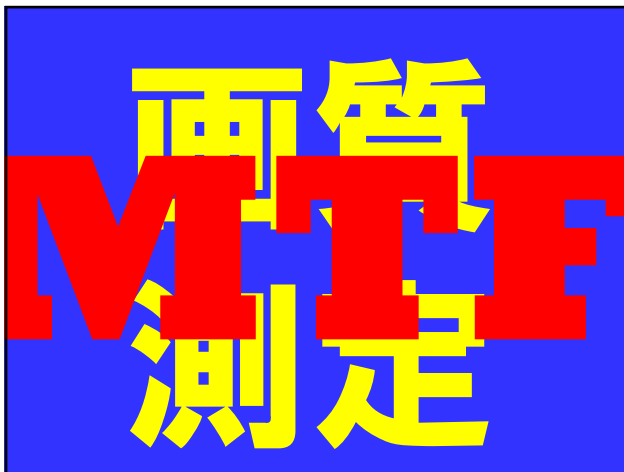
52

Key performance indices

Index	Touchless application	Aerial signage for the general public	AR/VR and general use
Floating distance	A	AA	AA
Image size	B	AA	AA
3D position	AA	A	AA
Luminance	A	AA	A
Qualified viewing space	A	AA	B
Stray light	A	B	AA
Light use efficiency	C	A	C
Optical resolution	C	B	A
Distortion and skew	A	A	B
Image quality	C	A	A

IEC-TC110/WG6-PM110-31
PL: H. Yamamoto

57



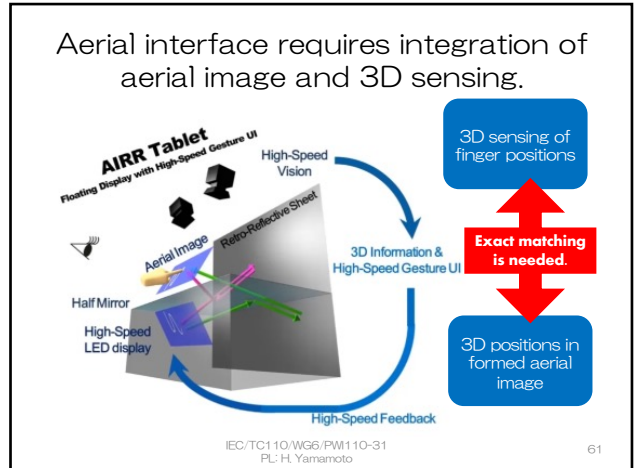
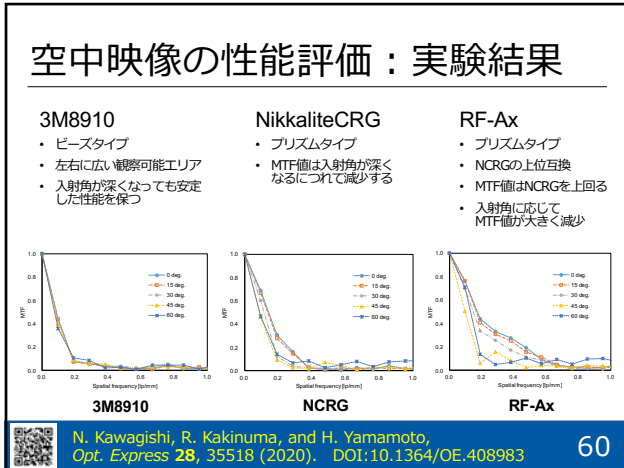
58

斜めナイフエッジ法によるMTF測定

- 斜めエッジ画像のROIを選択
- 画像データを投影しESF曲線を取得
- ウェーブレットノイズ除去法を用いたESF曲線のノイズ除去
- ESF曲線を微分しLSF曲線を導出
- フーリエ変換を用いてMTF曲線を導出

N. Kawagishi, R. Kakinuma, and H. Yamamoto,
Opt. Express **28**, 35518 (2020). DOI:10.1364/OE.408983

59



Top priorities for anti-CORONA touchless aerial terminal

Index	Touchless application	Device and product makers	AR/VR and general use
Floating distance	AA	AA	AA
Image size	AA	AA	AA
3D position accuracy and stability	AA	AA	AA
Viewing angle	AA	AA	AA
Ghost image	A	AA	AA
Luminance	A	A	A
Light use efficiency	C	A	C
Optical resolution	C	A	A
Distortion and skew	C	A	B
Image quality	C	A	A

62

IEC/TC110/WG6/PW110-31
Pl.: H. Yamamoto



国際標準化：PWIを卒業！ NP (New Work Item Proposal)

110/1326/RVN

RESULT OF VOTING ON NEW WORK ITEM PROPOSAL (RVN)

PROJECT NUMBER: IEC 62629-02-1 ED1
DATE OF CIRCULATION: 2021-05-14
REFERENCE NUMBER OF THE NP: 110/1326/NP

IEC/TC 110: ELECTRONIC DISPLAYS

SECRETARY: Mr. YOSHI SHIBAHARA
CHAIR: Mr. Xiaolin Yan

FUNCTIONS CONCERNED: EMC ENVIRONMENT QUALITY ASSURANCE SAFETY

TITLE OF PROPOSAL: PW110-1303 ED1: 3D display devices - Part 02-1: Fundamental measurement methods of aerial display - Optical

APPROVAL	P-MEMBERS VOTING	P-MEMBERS APPROVING	P-MEMBERS NOT APPROVING	APPROVAL %	CRITERIA	RESULT
	11	10	1	90.9	>=66.7%	APPROVED

PARTICIPATION	NUMBER OF P-MEMBERS	P-MEMBERS APPROVING AND PARTICIPATING	CRITERIA	RESULT
	22	9	>=6 (of 17) 25 (of 217)	APPROVED

64

空中表示 AIRR

65

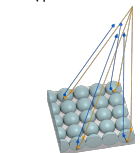
再帰反射による 空中結像

AIRR
(Aerial Imaging by Retro-Reflection)

66

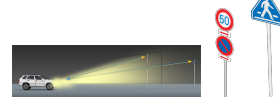
キーデバイス「再帰反射素子」

救命胴衣



マイクロビーズ型
(ボールレンズ)

道路標識

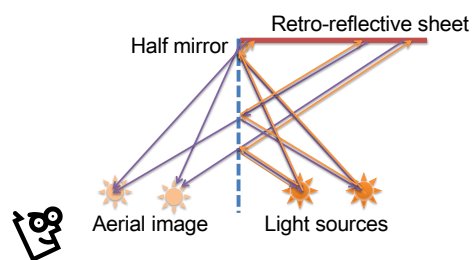


プリズム型
(コーナキューブ)

67

This work

(A) Forming an aerial image



Aerial image is separated from the light source
at the plane-symmetrical position of the light sources
regarding to the half mirror.

68

68

Result

(B) Smoothing LED gaps

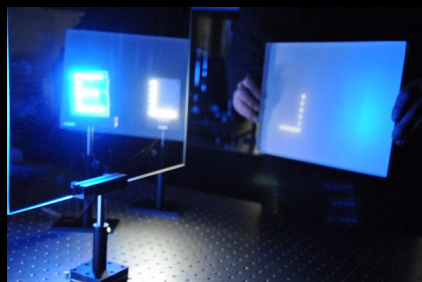


69

69

Result

(C) Forming multi-layered LED signs

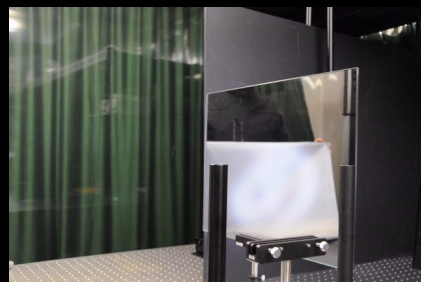


70

70

Result


(D) Alignment tolerance — Putting a retro-reflective fabric —



71

71

AIRR (Aerial Imaging by Retro-Reflection)



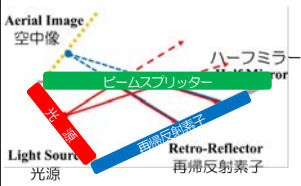
AIRR features:

1. Wide viewing angle
2. Large-size scalability
3. Low cost and mass-productive optics

H. Yamamoto, et al., *Opt. Exp.* 22, 26919 (2014).

76

再帰反射による空中結像(AIRR)の3要素



再帰反射素子で光を集めることで、ビームスプリッターに対して面対称となる位置に、光源ディスプレイの空中映像を形成する。広い範囲から観察できる特長。

Hirotsugu Yamamoto, Yuka Tomiyama, and Shiro Suyama, *Opt. Express* 22, 26919 (2014).

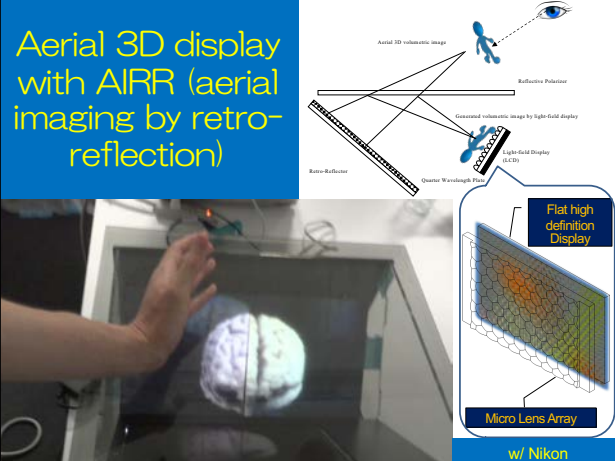
3要素の組み合わせで多彩な機能化

77

Optical Designs of AIRR

78

Aerial 3D display with AIRR (aerial imaging by retro-reflection)



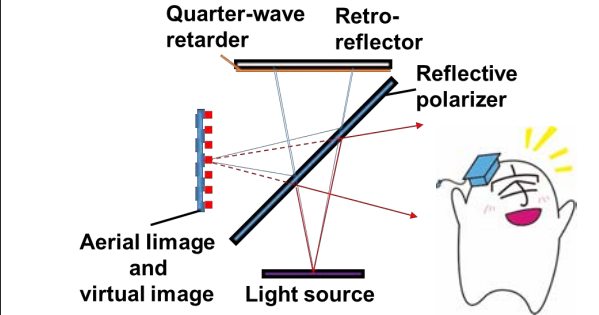
w/ Nikon

79

Optical see-through 3D interfance w/ AIRR

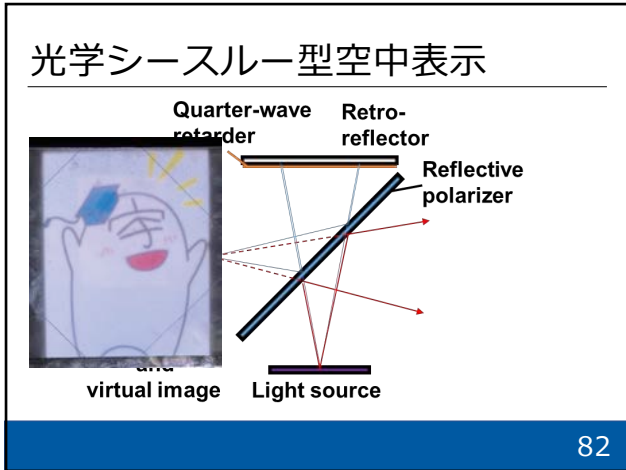
80

光学シースルー型空中表示

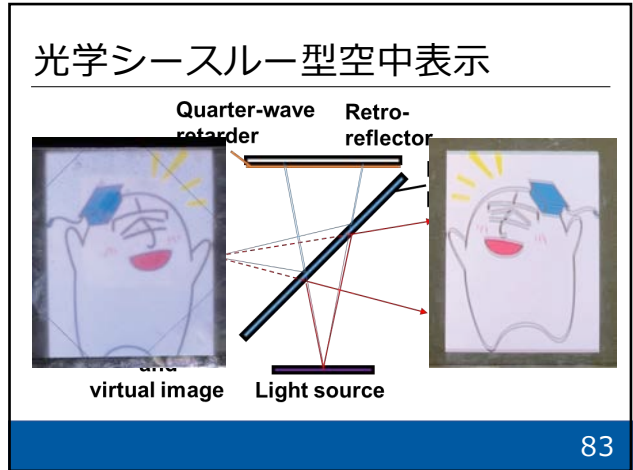


81

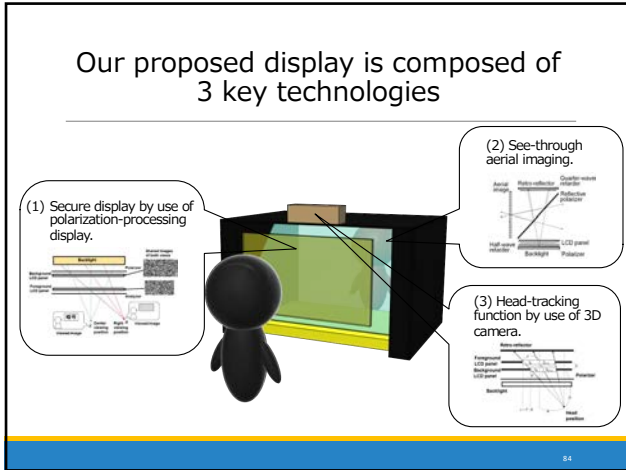
81



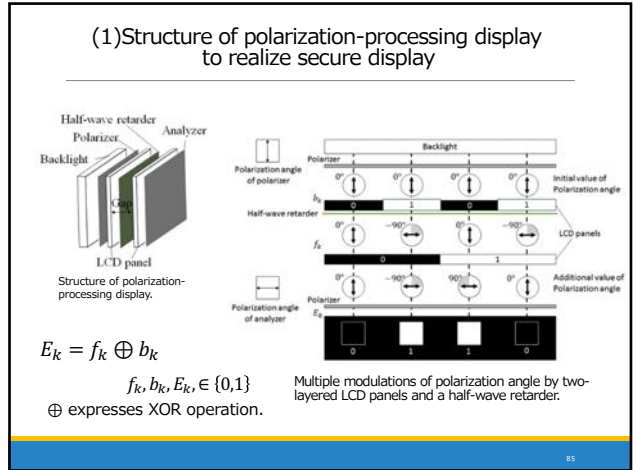
82



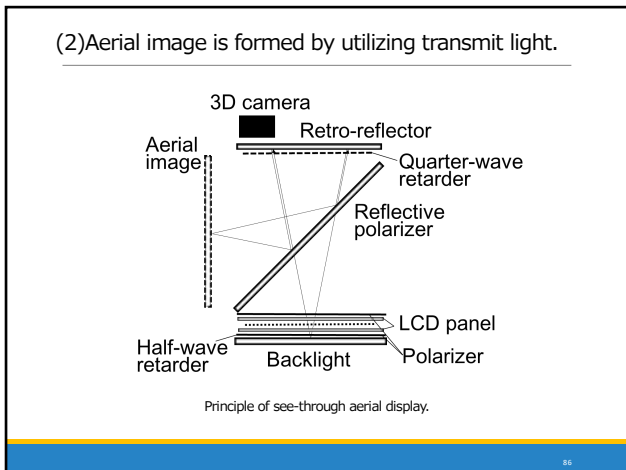
83



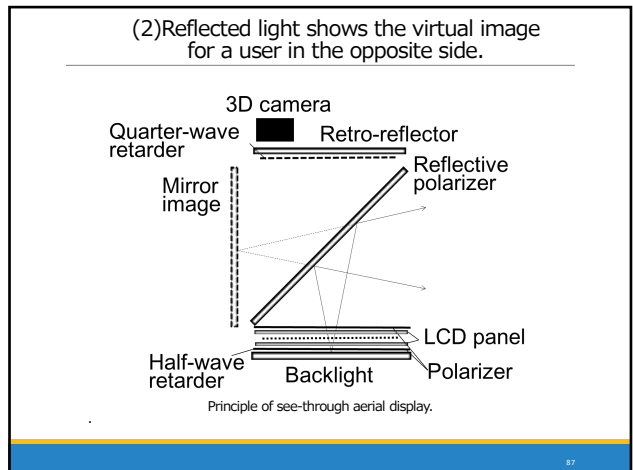
84



85

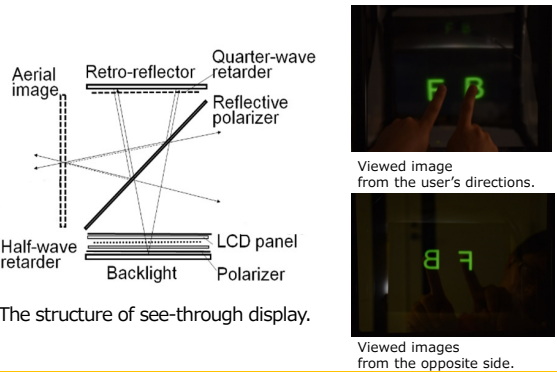


86



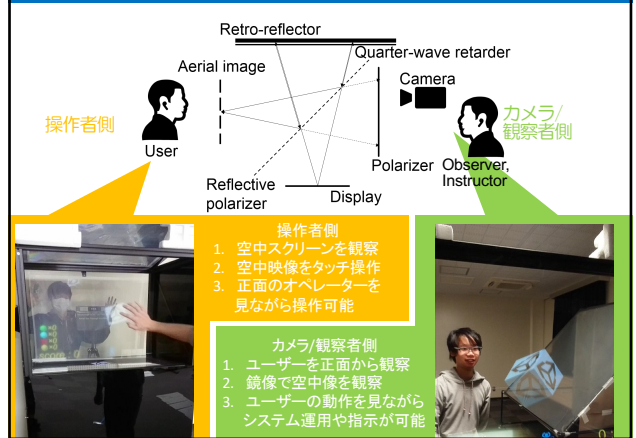
87

(2) Viewed images of see-through aerial display



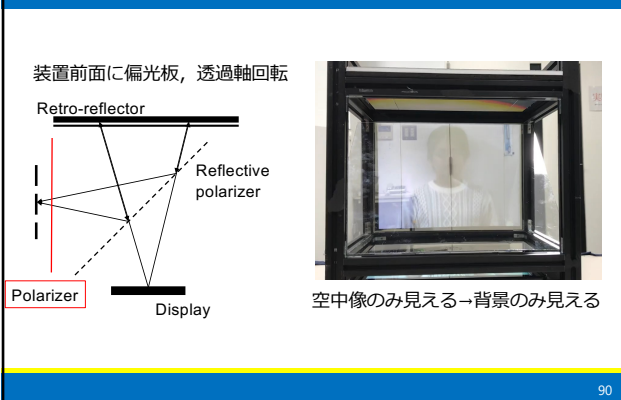
88

光学シースルー構造により正面からジェスチャーを検出可能



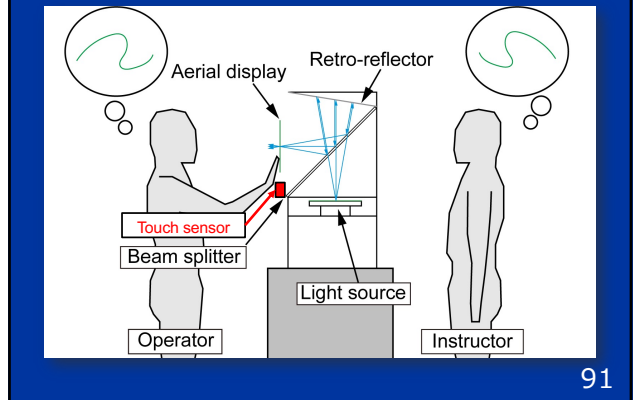
89

正面から撮影できる視線一致空中インタフェース



90

タッチレス空中インターフェース



91

タッチレス空中インターフェース



Light source LCD display		Touch sensor	
Size	10.4 inches	Size	230mm
Resolution	800×600 pixels	Sensing area	230.4×208.5 mm
Outline dimensions	236×176.9×6.3 (mm)	Minimum object size	5 mm (diameter)
Luminance	2000 (cd/m ²)	Touch resolution	0.1 mm

93

ユーザーの周囲を
空中映像で囲む
全周型空中
インターフェース

94

操作者側
2m四方を空中映像で取り囲む。物理的な接触なく、映像とインタラクション。

観察者側
操作者と表示されている映像の両方を観察できる。反対側の空中像も観察可能。

光学シースルー全周型
空中ディスプレイシステムの構築 **没中型**

95

Compact AIRR

96

大型化のフットスペースの削減

LEDの隙間に再帰反射素子を配置
バックライト（導光板）の上にパターンで穴あき加工した再帰反射シートを置く形でも可能

D. Nishimura, M. Yasugi, and H. Yamamoto: "Proposal of moire-free aerial display based on the LED panel and apertured retro-reflector," *Opt. Review*, (2021). <https://doi.org/10.1007/s10043-021-00642-y>

97

97

合わせ鏡構造: 薄型化

- 1 ビームスプリッター
- 2 ビームスプリッター
- 3 再帰反射シート
- 4 光源
- 5 虚像
- 6 虚像
- 7 虚像
- 8 空中像
- 9 空中像
- 10 空中像
- 11 表面反射光
- 12 裏面反射光 (再帰反射光)
- 13 虚像までの光線のイメージ

K. Chiba, M. Yasugi, and H. Yamamoto: "Multiple aerial imaging by use of infinity mirror and oblique retro-reflector," *Jpn. J. Appl. Phys.* **59**, SO0D08 (2020).

98

98

Novel design

104

104

透明球と組み合わせた空中表示

通常空中像
透明球2個

K. Fujii, M. Yasugi, S. Maekawa, and H. Yamamoto: "Reduction of retro-reflector and expansion of the viewpoint of an aerial image by the use of AIRR with transparent spheres," *OSA Continuum* **4**, pp. 1207–1214 (2021).

105

105

透明球と組み合わせた空中表示

Beam splitter
Light source
Retro-reflector
Clear Sphere

通常の中空像

透明球1個

K. Fujii, M. Yasugi, S. Maekawa, and H. Yamamoto: "Reduction of retro-reflector and expansion of the viewpoint of an aerial image by the use of AIRR with transparent spheres." *OSA Continuum* 4, pp. 1207–1214 (2021).

106

透明球と組み合わせた空中表示

通常の中空像 透明球1個 透明球2個

2つの透明球を用いて、空中表示を隠すことと表示することができた。

K. Fujii, M. Yasugi, S. Maekawa, and H. Yamamoto: "Reduction of retro-reflector and expansion of the viewpoint of an aerial image by the use of AIRR with transparent spheres." *OSA Continuum* 4, pp. 1207–1214 (2021).

107

シミュレーション構成

Transparent sphere 2
70 (mm)
Beam splitter
200 (mm)
Transparent sphere 1
70 (mm)
Light source
50 (mm)
Retro-reflector
110 (mm)

- シミュレータ
Light tools 9.0.0
- 面光源
50*50mm, (W * H)
傾き -45°
目標球 (放射範囲) 45°
波長 550nm
- 透明球
直径 70mm, PMMA
- 再帰反射素子
110*110mm (W * H)
傾き 45°

108

1. 再帰反射素子に入射する光

透明球なし 透明球あり

透明球によって、光線の広がり角が絞られている。

109

1. 再帰反射素子に入射する光

透明球なし 透明球あり

透明球によって、再帰反射素子に入射する光が集められている。
左右方向の損失光が低減されている。

110

2. 空中結像のシミュレーション

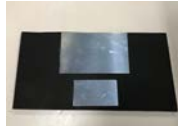
Detector (Reverse side)
Beam splitter
Retro-reflector
Light source

Transparent sphere 2
Beam splitter
Transparent sphere 1
Retro-reflector
Light source

111

透明球と組み合わせた空中表示

【透明球なしの場合】



再帰素子の形



表示元画像

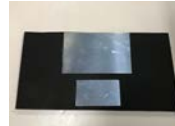
- ・視野角が狭め
- ・素子の切れ目で像が消える
- ・表面反射がノイズ

112

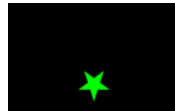
112

透明球と組み合わせた空中表示

【透明球ありの場合】



再帰素子の形



表示元画像

- ・視野角が広がった。
- ・素子の切れ目で像が消えない
- ・表面反射が気にならない

113

113

透明球と組み合わせた空中表示



左右方向の視野角



透明球なし
左右約30度



透明球あり
左右約45度

明らかに、左右方向の視野角は広がっている。

K. Fujii, M. Yasugi, S. Maekawa, and H. Yamamoto: "Reduction of retro-reflector and expansion of the viewpoint of an aerial image by the use of AIRR with transparent 114 spheres." OSA Continuum 4, pp. 1207-1214 (2021).

114

社会実装 にむけて

キラーアプリケーション？
夢？ 異分野への応用？
ご相談ください。

115

空中ディスプレイは 自由空間インタフェースのコア技術

1. 自由空間インタフェースは、5G時代の information / humanの界面を担う。
2. 従来のFPD以上に設置空間とユースケースに応じた光学設計が求められる。
3. ユーザーの位置やジェスチャーのセンシング・AIによる認識などと組み合わせることでキャッシュレス決済などへのシステム化のキーテクノロジーである。

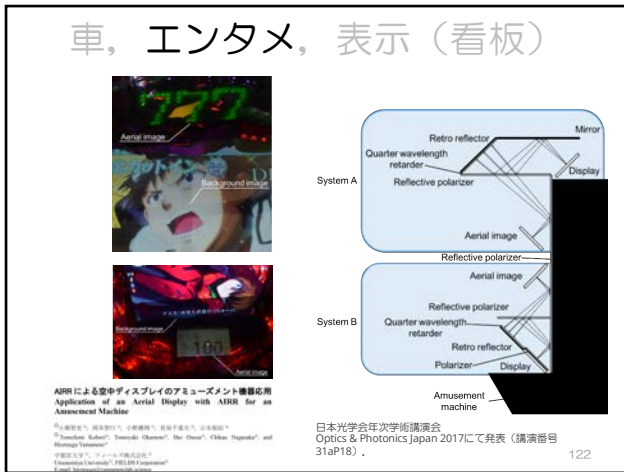
118

用途

- ・自動車のヘッドアップディスプレイ(**)や操作入力用の画面に利用できる。
- (**)自動車の運転手が視線を前方に向けたままで観察できるディスプレイ技術のこと。2019年の世界市場規模は2億5260万ドル (MarketsandMarkets調べ)
- ・工場や医療現場において手袋をしたままでタッチ操作のできる端末を可能にする。
- ・ATMなどにおいて覗き込み防止かつ衛生的な画面や空中ボタンに利用できる。
- ・IP施設やアミューズメント分野において飛び出す画面で注目を集める演出を行う。

119

119



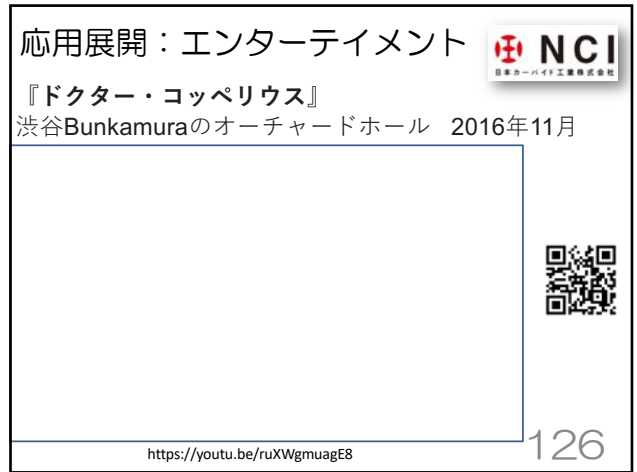
122



123



125



126



130



131



132

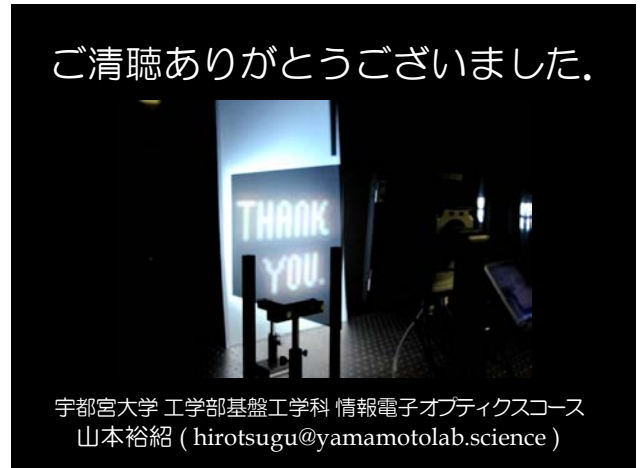


133

**空中ディスプレイは
自由空間インタフェースのコア技術**

- 自由空間インタフェースは、これからのIoT・サービスプラットフォームとユーザーの界面を担うと期待される。
 - 自動車（自動運転・シェアライド）
 - 衛生・安全安心（工場・医療・食品端末）
 - エンタメ・新領域（VR施設・観光）
- 精密加工・高機能材料が性能を左右する。
- 従来のFPD以上に設置空間とユースケースに応じた光学設計が求められる。

134



135